



# 土と芽だより

平成 28 年 1 月 114 号

新年あけましておめでとうございます。今年の干支は丙申(ひのえさる)といわれ、草木が伸び果実が実りあらゆる物事が形を成していくような機運の年だそうです。奇しくも今年は尼崎市制 100 周年です。お祝いのイベントや尼崎市の歴史を見直す機会が多くなりそうです。そして当会は阪神地区連絡協議会の担当市で 10 月 20 日にオクトホールで保護者研修会を行います。尼崎市にとっても当会にとっても実り多い年になることを期待します。そして今年も皆様が幸多い一年で過ごせますことをお祈りいたします。

発行



〒660-0893

尼崎市西難波町 2-3-10

TEL6419-3897/FAX6419-3899

E-mail : ikuseikai.ama@y3.dion.ne.jp


<http://www.ikusei-ama.com/>



## 部会・委員会



行事名	第 3 回心障連役員会				
日時	10月21日(水)	場所	かがやき(七松)	参加者数	13名
内容	1. 市民福祉のつどい 11月7日(土) 橘公園噴水広場 実行委員会の報告 2. 成人式・還暦祝と新年おめでとう会 平成28年1月10日 プログラム広告依頼、市報掲載、後援依頼 他 3. その他・・・スポーツ大会反省				
行事名	成年期見学会(尼ロック)				
日時	10月29日(木)	場所	尼崎港管理事務所 西海岸町地先	参加者数	21名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尼ロックに船の入港があり展望デッキから門の開閉を見学する。</li> <li>・尼ロックのビデオ鑑賞をする。尼崎市の土地の特徴についての説明。海拔0メートル地帯とは、満潮時の海面より低い土地である。大正時代に工場建設のために地下水を汲み出したため地盤が下がってしまった。</li> <li>・防災展示室で説明を受け、質問をする。</li> </ul> ニロックの名称は一般公募により決まった。ダビンチのデザインした「パナマ運河」と同モデルとのこと。内水氾濫や洪水から街を守るための大型ポンプは全部で4か所あり、7秒で25mプールの水を吐き出せるとのこと。畳3畳ほどの尼崎市の地図が足元にあり、浸水規模を目で見て体感できた。				

行事名	施設見学（レジデンスなさはら）				
日時	11月10日(火)	場所	高槻市	参加者数	14名
内容	<p>障害の重い方や行動障害を伴う自閉症の方の将来の暮らしの場として開設されたグループホーム。平屋3棟続き1番館：女性7名、2番館：男性7名、3番館：男性6名          区分4～6 平均年齢：35.5歳 全室南側向き、床暖付き。部屋の温度、湿度を一定に保つ。看護師が常駐。毎日入浴：一人ずつお湯交換を行う。          全室入居者に合わせた造りになっている。          運営方針：当たり前の生活(生活リズム)を丁寧に支援すること。</p>				
行事名	全体研修会（中山清司先生）				
日時	11月26日(木)	場所	中央公民館（小ホール）	参加者数	37名
内容	<p>テーマ 「自閉症支援の今、これから」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカノースカロライナ州で行っている TEACCH プログラムのスライドを見て説明を受ける。TEACCH プログラムの中にはリラックスという事が入っている。自閉症の人はストレスが溜まるのでリラックス（息抜き）は大事。アメリカでは中学生の時から個別の移行計画を作り中学から高校と職業訓練をする。</li> </ul>				
行事名	幼児期・学齢期研修会(米田和子先生)				
日時	12月11日(金)	場所	あこや学園	参加者数	38名
内容	<p>テーマ 「ペアレントトレーニング」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングは10回のカリキュラムがある。</li> <li>・一人一人の違いを受け止めて目の前の子供をしっかりと育てる。ダメな事はしっかりダメと教える。周りの人にも理解を求めるが本人にも伝える。</li> <li>・感情は受け止めて行動は修正する。</li> </ul> <p>&lt;感想&gt;</p> <p>親の心にゆとりができればそれは子供にもちゃんと伝わって、良い方向に行ってくれる。「親は最良の療育者であり、育てにくい子を育てているお母さん達こそ子育てのスペシャリストだ」という米田先生の言葉がとても印象深くひびきました。</p> 				
行事名	第4回心障連役員会				
日時	12月16日(水)	場所	かがやき（七松）	参加者数	12名
内容	<p>1. 成人式・還暦祝と新年おめでとう会について：役割分担          2. その他：市民福祉のつどいの反省 北村保子氏（市議会議員）との懇親会</p>				

## まんまるはと 隊員募集



知的に障害を持った人の気持ちも矢口ってもらうための疑似体験チーム「まんまるはと♡」を結成しました。昨年は地区懇談会以外にも講演に出かけています。

これから もっと 良いワークショップができるようみなさんの力を貸してください。

\*こちらに連絡下さい

育成会事務所


〒660-0893 尼崎市西難波町 2-3-10

TEL 6419-3897/ FAX 6419-3899



# その他報告

行事名	<b>第1回地域生活・就労支援部会</b>				
日時	10月6日(火)	場所	県福祉センター	参加者数	2名
内容	演題 「親も子も安心のための地域生活」 講師 社会福祉法人一羊会 地域生活支援センター「ジョイント」 所長 古川 勝 氏 ・育成会運動の仕上げとして「地域で暮らす」を考える。 ・家族と離れて生活する時、本人が「しなければいけないこと」「したいこと」を考え、生活を組み立てる。 ・プライバシー重視か、アットホームタイプかなど、グループホームの仕事は様々であることを目指し、行政・法人に働きかけ支援・協力を要請する。				
行事名	<b>阪神地区保護者研修会</b>				
日時	10月9日(金)	場所	西宮市民会館(アミティホール)	参加者数	131名
内容	講演 「将来の生活設計について」～今、家族がしなければならないこと～ 社会福祉法人睦月会 理事長 日本福祉大学 福祉経営学部 福祉マネジメント科 教授 綿 祐二 氏 シンポジウム テーマ 「計画相談の現状と課題」 (シンポジスト) 社会福祉法人光耀会 相談支援事業所「ねくすと」相談支援専門員 宮城明子氏 社会福祉法人阪神福祉事業団 「ななくさ清光園」 副園長・相談支援専門員 姫田民也 氏 社会福祉法人西宮市社会福祉協議会 「障害者総合相談支援センターにしのみや」係長・相談支援専門員 増田 真樹子 氏 (コーディネーター) 社会福祉法人宝塚さざんか福祉会 相談支援・権利擁護担当参事 相談支援センター「だんぼ」 所長 今西 則行 氏				
行事名	<b>第54回 近畿知的障がい者福祉大会</b>				
日時	10月11日(日)	場所	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス	参加者数	2名
内容	「中央情勢報告」 全国手をつなぐ育成会連合会 会長 久保 厚子 氏 講演 「障害者権利条約と日本のいま ～孤立する当事者家族の現実～」 講師：立命館大学 特別任用教授 峰島 厚 氏 シンポジウム テーマ 「私たちがめざすもの～命と生活を守るために これからを考える～」 (シンポジスト) NPO法人 草津手をつなぐ育成会 子ども達の余暇活動をサポートする会(よかさぽ会) 部長 中島 由里子 氏 NPO法人 近江八幡市手をつなぐ育成会 オープンスペース 「ぱれっと」 理事 杉本 僚子 氏 一般社団法人 神戸市手をつなぐ育成会「見守りTAI」 会長 後藤 久美子 氏 滋賀の縁創造実践センター 所長 谷口 郁美 氏 (コーディネーター) 立命館大学 特別任用教授 峰島 厚 氏				

行事名	第 59 回 兵庫県知的障害者福祉大会																		
日 時	10月23日(金)	場 所	養父市立八鹿文化会館	参加者数	51 名														
内 容	<p>表彰状贈呈者   <b>尼崎市手をつなぐ育成会：吉岡 かほる、井上 恵子</b> <span style="border: 1px dashed blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">おめでとうございます</span></p> <p>中播磨地区手をつなぐ育成会：難波 和子</p> <p>テーマ「安心と自立を支える地域福祉をめざして」</p> <p>午前 講演「障害者差別解消法施行に向けての地域の取り組みについて」  講師 毎日新聞論説委員 野澤 和弘 氏</p> <p>午後 「知的障害の理解と権利擁護」  知ってほしい・知っておきたい 冊子（その1 警察版）の説明  全日本手をつなぐ育成会連合会権利擁護センター 委員長 松井 美弥子</p> <p>シンポジウム（よりよい地域づくりに向けた今後の活動）  シンポジスト</p> <p>支援者の立場から 精神保健福祉士・社会福祉士 谷村 慎介 氏  地域支援センターあいあむセンター長 濱口 直哉 氏</p> <p>家族の立場から 事例として3件の発表があった。  谷村 慎介 氏</p> <p>*障害を持っている人でも悪いことしたら許されない、放火などは罪が重く、常習にならないためにも「制裁のための入所施設」で矯正する必要がある。</p> <p>コーディネーター 毎日新聞論説委員 野澤 和弘 氏</p>																		
行事名	阪神地区連絡協議会																		
日 時	11月24日(火)	場 所	西宮市総合福祉センター	参加者数	5 名														
内 容	1. 県育成会からの情報 2. 各市・町情報交換…活動報告と予定 3. 阪神地区手をつなぐ育成会保護者研修会について…561 名参加、決算報告 4. その他																		
行事名	社会福祉法人福成会第2回理事会・評議員会																		
日 時	12月8日(火)	場 所	塚口福成園食堂																
内 容	1. 福成会事業所の利用定員数の変更について <table style="width: 100%; border: none;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="text-align: center;">現行</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①清 流 園</td> <td>65名(生活介護 65名)</td> <td>⇒ 60名(生活介護 60名)</td> </tr> <tr> <td>②塚口福成園</td> <td>65名(生活介護 25名・就労継続B型 40名)</td> <td>⇒ 60名(生活介護 20名・就労継続B型 40名)</td> </tr> <tr> <td>③杭瀬福成園</td> <td>75名(生活介護 75名)</td> <td>⇒ 60名(生活介護 60名)</td> </tr> <tr> <td>④あいあい</td> <td>45名(生活介護 45名)</td> <td>⇒ 40名(生活介護 40名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>*定員数は減少するが、現在の利用者が利用できなくなることはない。  また、新しい契約者の受け入れも可能。  *職員体制等にも変わりはない。  *上記事業所の運営規定を改正する。(平成 28 年 1 月 1 日施行)</p> 2. サポートセンターまつばの自立訓練休止について *自立訓練の実績が 27 年度は 0 名であることから事業を一旦休止する。 なお、利用ニーズがあれば再開する。 *サポートセンターまつば定員 54 名(生活介護 54 名) *運営規定を改正する。(平成 28 年 4 月 1 日施行) 3. 就業規則の一部を改正する規則について 4. 平成 27 年度収支補正予算(第 1 次)について					現行	変更後	①清 流 園	65名(生活介護 65名)	⇒ 60名(生活介護 60名)	②塚口福成園	65名(生活介護 25名・就労継続B型 40名)	⇒ 60名(生活介護 20名・就労継続B型 40名)	③杭瀬福成園	75名(生活介護 75名)	⇒ 60名(生活介護 60名)	④あいあい	45名(生活介護 45名)	⇒ 40名(生活介護 40名)
	現行	変更後																	
①清 流 園	65名(生活介護 65名)	⇒ 60名(生活介護 60名)																	
②塚口福成園	65名(生活介護 25名・就労継続B型 40名)	⇒ 60名(生活介護 20名・就労継続B型 40名)																	
③杭瀬福成園	75名(生活介護 75名)	⇒ 60名(生活介護 60名)																	
④あいあい	45名(生活介護 45名)	⇒ 40名(生活介護 40名)																	

\*第36回理事会 10月16日

# 理事会報告

1. 中間決算について
2. 地域活動支援センター（かがやき）について  
武庫川清掃について…3年が経過し新たに入札により決定。今後も同じように保護者が清掃を行うかがやきの利用者だけで行うのか検討。  
⇒各施設の家族会で検討し、12月理事会で決定する。



\*第37回理事会 12月18日

1. 地区懇談会について  
①防災ワークショップ…グループ分けをして防災の事を考える  
②マイナンバー制度について
2. 地域活動支援センター（かがやき）について(継続審議)  
各施設よりの意見を参考に全員一致で来年度からの公園清掃の入札はかがやきの利用者だけで行うことを条件に入札に参加することになる。

## 平成27年度 要望書回答

### 1. 尼崎市内に地域生活支援拠点整備型施設の建設

\*高齢化、医療ケアに対応し、ショートステイや相談支援を併設した施設

回答⇒他の所と意見交換しネットワークを作り役割分担を決める(面的整備型)



### 1. 幼児期から成人期にわたる生涯サポート体制の確立

・保育所等訪問支援の充実 ・相談支援事業の充実

回答⇒訪問支援はH25年開始。保育所等から要望があれば、あこや、たじかの、榎の木などから療育支援に行っている。相談支援事業については、委託相談を検討中。

### 1. 知的障害児に対する教育効果が高まるような方策を

・特別支援学級にタブレット端末の導入 ・特別支援教育コーディネーターの活用

回答⇒市内小中学校、阪神特別支援学校高等部1年に設置しているが、どのように活用しているかは確認予定。コーディネーターは、各学校を巡回中。

### 1. 公共機関に特例子会社のような部署を設置

回答⇒障害者法定雇用率は達成しているが、チャレンジ雇用を考えていく。

他市(明石市・三田市)の事例については問い合わせし前向きに検討する。



### 1. 災害時における知的障害児・者への適切な対応

回答⇒福祉避難所6か所設置。その他の候補地あり増設予定。

### 1. 入所施設利用者が一時帰宅中に移動支援の利用を可能に

回答⇒厚生労働省としては、施設入所者の入院中の移動支援・外出・外泊は介護報酬に含まれるとの見解。

### 1. 選挙における知的障害者への合理的配慮

回答⇒各投票所に代理投票できる職員が配置されている。

職員にポスターや候補者の顔が載っている選挙公報誌での指さしでも投票できる。



### 1. 高齢化に特化した施設建設

回答⇒特養に一般の高齢者も多数入居待ちの状態障害者枠や優先利用は難しい。

### 1. 幼児の療育施設の利用料を振込みにしてほしい

回答⇒引き落としにすると、システム設定の経費や手数料がかかる。保護者会と相談し検討する。





# 行事報告



月日	曜日	行 事	月日	曜日	行 事
10/1	木	県三役会	11/16	月	自立支援協議会あまっこ部会
10/6・7	火・水	中間監査	11/17	火	自立支援協議会くらし部会（全体会）
10/8	木	自立支援協議会ガイドライン部会	11/20	金	Aプロジェクト委員会チームⅠ
10/9	金	阪神地区保護者研修会	11/24	火	阪神地区連絡協議会
10/10	土	福成会フェスティバル			自立支援協議会くらし部会
10/11	日	近畿大会（草津市）	11/25	水	全国権利擁護部会（栃木県）
10/18	日	あこや学園運動会	11/26	木	全体研修会（中山先生）
10/19	月	自立支援協議会あまっこ部会	11/28	土	芸術文化祭
10/21	水	第3回心障連役員会	12/1	火	Aプロジェクト委員会チームⅢ
10/23	金	県福祉大会	12/2	水	県三役会
10/24	土	武庫まつり	12/3	木	南武庫之荘中疑似体験（AプロⅠ）
10/26	月	大空小学校見学	12/8	火	近畿ブロック
10/27	火	自立支援協議会くらし部会			福成会理事会・評議員会
10/28	水	秋の花と緑を愛でる会	12/10	木	おめでとう会打ち合わせ
10/29	木	成年期見学会（尼ロック）			自立支援協議会ガイドライン部会
10/30	金	社協福祉大会（三木市）	12/11	金	幼児期・学齢期研修会
11/2	月	県三役会			第2回権利擁護部会（丹波市）
11/4	水	県高齢化部会（特別講演会）	12/16	水	第4回心障連役員会
11/7	土	福祉のつどい	12/21	月	要望書回答
11/10	火	なさはら見学			自立支援協議会あまっこ部会
11/12	木	自立支援協議会ガイドライン部会	12/25	金	社会保障審議会
11/15	日	トラの会（本人部会）			



## 地区懇談会へのお誘い

平成27年度第2回目の地区懇談会を下記の日程で行います。防災について一人ひとりが考えるためのワークショップとマイナンバー制度についての説明を行います。どちらも身近な問題で、理解を深めていただくためにもぜひご参加頂きますようご案内いたします。

地 区	日程（10:00～12:00）	場 所
中央・大庄	2/15（月）	大庄地区会館
小田・園田	2/3（水）	小田公民館
立花・武庫	2/19（金）	女性センタートレピエ



## …… 訃 報 ……

10月 中 川 柳太郎 様（塚口福成園 中川 和幸さんのお父様）  
 11月 田 場 秋 男 様（塚口福成園 田場 亮一さんのお父様）

こころよりご冥福をお祈りいたします。